

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 IMV株式会社
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 桂井 徹
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	716	△42.6	△33	—	△36	—	△59	—
21年9月期第1四半期	1,247	15.4	72	—	68	—	26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	△3.66	—
21年9月期第1四半期	1.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	6,634	1,833	27.6	112.15
21年9月期	6,850	1,912	27.9	117.00

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 1,833百万円 21年9月期 1,912百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
22年9月期	—				
22年9月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,880	△31.8	25	—	5	—	3	—	0.18
連結累計期間									
通期	4,175	0.4	170	—	130	—	130	—	7.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 有
- (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	16,957,016株	21年9月期	16,957,016株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	611,552株	21年9月期	610,632株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第1四半期	16,345,864株	21年9月期第1四半期	16,348,086株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、世界金融危機の影響により景気低迷が続く中、政府の経済対策等により一部経済指標に改善の兆しがみられるものの、円高が企業収益の圧迫要因となり、設備投資抑制・雇用所得環境悪化等依然として不透明な状況が続いております。

この様な環境の中、当社グループは、急激な環境変化に対応するため「経営の安全性」と「近未来の基盤作り」を重点志向し、新規事業の推進と損益分岐点の引き下げを喫緊の課題として取り組みました。具体的には、次世代エネルギーや鉄道車両機器といった新規分野への事業展開を加速すると共に、希望退職者の募集や役員報酬の削減等の固定費削減策を実施いたしました。また、開発力の強化を目的に、電子機器の開発受託を行う株式会社データ・テクノを連結子会社化いたしました。既存事業の分野では、収益機会の拡大のために協業を推進しており、その一環としてGEエナジー・ジャパン株式会社と業務提携契約を締結いたしました。業績面につきましては、受注動向は回復基調にあるものの、依然として低い水準で推移していることに加え、前連結会計年度から持ち越した受注残高が低水準であったことも重なり、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は716百万円となり、前年同四半期と比べ531百万円の減収(対前年同四半期比42.6%減)となりました。利益面では、大幅な減収に対応できるよう固定費の削減を推進しておりますが、売上高の減少による限界利益の減少やテナントの退去に伴う受取賃貸料の減少等により経常損失は36百万円となり前年同四半期と比べ105百万円の減益(前年同四半期は経常利益68百万円)となりました。また、早期希望退職者の募集による早期割増退職金を計上したこと等により、四半期純損失は59百万円となり前年同四半期と比べ86百万円の減益(前年同四半期は四半期純利益26百万円)となりました。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、韓国等の海外市場で回復の動きが見られるものの、主要顧客である国内自動車関連業界の設備投資は依然として抑制されており、本格的な回復には時間を要しております。その様な環境ではありますが、前連結会計年度に発売した省エネ型振動シミュレーションシステム「エコシェーカー」は顧客から好評を得ており、発売当初未対応であった大型システムにまでラインナップの拡大を進めております。

売上高につきましては、東海地区の受注回復が遅れていることや、前連結会計年度には建設機械向けの大型特殊装置の計上があったこともあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は426百万円となり前年同四半期と比べ490百万円の減収(対前年同四半期比53.5%減)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、製品ラインナップの拡大にむけて、設備状態監視システム分野において世界的なシェアを誇るGEブランド：Bentley Nevada(ベントリーネバダ)製品の販売等に係る業務契約を、GEエナジー・ジャパン株式会社と締結いたしました。また、製品開発においては風力発電機向け振動監視装置や二次電池向けのテスターといった新規性の高いアイテムの開発に注力いたしました。

売上高につきましては、顧客の設備投資動向が軟調であり、比較的高額な多チャンネル仕様の製品や、主力製品である携帯型振動計「カードバイブロ」が伸び悩んだため、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は157百万円となり前年同四半期と比べ27百万円の減収(対前年同四半期比14.8%減)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、前連結会計年度開設した鉄道車両機器向け受託試験施設の営業活動を強化し、セミナーの開催等を行いました。

売上高につきましては、装置販売同様に受注に回復の兆しは見られ、比較的規模の大きい試験が増加しておりますが、全体として試験件数は減少しており、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は133百万円となり前年同四半期と比べ13百万円の減収(対前年同四半期比9.1%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ216百万円減少し、6,634百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ169百万円減少し、3,134百万円となりました。この主な要因は現金及び預金の増加77百万円及び原材料の増加303百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少260百万円、製品の減少49百万円及び仕掛品の減少222百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ46百万円減少し、3,500百万円となりました。この主な要因は、減価償却費等による有形固定資産の減少51百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ136百万円減少し、4,801百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ47百万円減少し、3,314百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加52百万円及び未払金の増加26百万円があったものの、短期借入金の減少78百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少11百万円及び未払費用の減少52百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ89百万円減少し、1,487百万円となりました。この主な要因は長期借入金の減少91百万円及び繰延税金負債の減少21百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ79百万円減少し、1,833百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の減少76百万円及びその他有価証券評価差額金の減少3百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.3ポイント減少し27.6%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の117円00銭に対し、112円15銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年11月13日に公表いたしました平成21年9月期決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において、営業外収益「雑収入」に含めて表示しておりました「セミナー収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。

なお、前第1四半期連結累計期間における「セミナー収入」の金額は、3,079千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」に含めて表示しておりました「保険積立金の解約による収入」は、重要性が増加したため区分掲記しました。

なお、前第1四半期連結累計期間における「保険積立金の解約による収入」の金額は、1,653千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	955,386	878,335
受取手形及び売掛金	1,248,531	1,508,661
有価証券	18,917	18,812
製品	66,273	115,650
仕掛品	193,311	415,311
原材料	481,063	177,890
未収還付法人税等	71,537	70,048
未収消費税等	—	9,004
繰延税金資産	55,671	75,325
その他	44,396	35,659
貸倒引当金	△900	△1,000
流動資産合計	3,134,189	3,303,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157,953	1,183,846
土地	1,751,339	1,751,339
その他(純額)	272,428	297,758
有形固定資産合計	3,181,722	3,232,944
無形固定資産	72,798	59,903
投資その他の資産		
その他	245,993	254,313
貸倒引当金	△214	△214
投資その他の資産合計	245,778	254,099
固定資産合計	3,500,299	3,546,946
資産合計	6,634,489	6,850,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	550,179	497,282
短期借入金	1,851,452	1,930,000
1年内返済予定の長期借入金	548,290	559,390
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	100,958	74,120
未払費用	92,245	144,540
未払法人税等	556	—
製品保証引当金	42,000	44,000
その他	28,584	12,027
流動負債合計	3,314,266	3,361,360
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,102,592	1,194,326
繰延税金負債	30,518	51,794
長期未払金	290,526	267,093
その他	13,500	13,500
固定負債合計	1,487,136	1,576,713
負債合計	4,801,403	4,938,074

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	922,458	998,579
自己株式	△109,285	△109,172
株主資本合計	1,835,553	1,911,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,466	784
評価・換算差額等合計	△2,466	784
純資産合計	1,833,086	1,912,572
負債純資産合計	6,634,489	6,850,646

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,247,573	716,532
売上原価	873,110	510,136
売上総利益	374,462	206,396
販売費及び一般管理費	302,393	239,628
営業利益又は営業損失(△)	72,069	△33,232
営業外収益		
受取利息	567	563
受取配当金	203	112
受取賃貸料	25,328	308
セミナー収入	—	4,617
助成金収入	—	4,335
雑収入	8,283	2,754
営業外収益合計	34,382	12,692
営業外費用		
支払利息	10,830	11,406
有価証券評価損	17,956	216
賃貸収入原価	1,117	186
雑損失	7,818	4,285
営業外費用合計	37,724	16,095
経常利益又は経常損失(△)	68,727	△36,635
特別利益		
保険解約返戻金	—	5,206
貸倒引当金戻入額	—	200
特別利益合計	—	5,406
特別損失		
たな卸資産評価損	21,835	—
投資有価証券評価損	1,366	—
固定資産除却損	—	15
早期割増退職金	—	25,966
特別損失合計	23,202	25,981
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,524	△57,210
法人税、住民税及び事業税	4,800	504
過年度法人税等	△3,340	—
法人税等調整額	17,406	2,059
法人税等合計	18,865	2,564
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,659	△59,774

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,524	△57,210
減価償却費	53,423	62,258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	200	△200
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,000	△2,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,071	—
受取利息及び受取配当金	△770	△675
受取賃貸料	△25,328	△308
支払利息	10,830	11,406
為替差損益(△は益)	4,823	△34
固定資産除却損	—	15
有価証券評価損益(△は益)	17,956	216
投資有価証券評価損益(△は益)	1,366	—
売上債権の増減額(△は増加)	282,303	272,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,815	△27,847
仕入債務の増減額(△は減少)	257,071	51,965
保険返戻金	—	△5,206
その他	△144,380	△14,163
小計	359,134	290,731
利息及び配当金の受取額	527	515
利息の支払額	△9,144	△9,376
法人税等の支払額	△90,547	2,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,970	283,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△10,455	△408
有形固定資産の取得による支出	△128,548	△6,576
有形固定資産の売却による収入	17,980	—
無形固定資産の取得による支出	△1,168	△775
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,588
保険積立金の解約による収入	—	12,330
定期預金の預入による支出	△6,143	△5,660
その他	25,159	△1,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,175	△5,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	180,000	△80,000
長期借入金の返済による支出	△92,834	△110,820
自己株式の取得による支出	△72	△113
配当金の支払額	△65,371	△16,340
その他	12	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,735	△207,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,823	34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173,706	70,890
現金及び現金同等物の期首残高	358,159	645,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,866	716,068

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	70,403	32,030	840	103,273
II 連結売上高(千円)	—	—	—	716,532
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	4.5	0.1	14.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : 韓国、中国、台湾

(2) ヨーロッパ : ロシア

(3) その他の地域 : ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,139,510	77.0	416,776	57.8	36.6
メジャリングシステム	180,352	12.2	158,415	22.0	87.8
テスト&ソリューションサービス	160,045	10.8	145,348	20.2	90.8
計	1,479,908	100.0	720,540	100.0	48.7

(受注高実績)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	459,038	52.9	585,923	61.3	127.6
メジャリングシステム	242,418	27.9	192,841	20.2	79.5
テスト&ソリューションサービス	166,092	19.2	177,037	18.5	106.6
計	867,550	100.0	955,802	100.0	110.2

(受注残実績)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,196,932	86.4	625,874	76.8	52.3
メジャリングシステム	147,636	10.6	123,438	15.1	83.6
テスト&ソリューションサービス	41,114	3.0	65,802	8.1	160.0
計	1,385,683	100.0	815,115	100.0	58.8

(販売実績)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	916,910	73.5	426,372	59.5	46.5
メジャリングシステム	184,215	14.8	157,023	21.9	85.2
テスト&ソリューションサービス	146,446	11.7	133,136	18.6	90.9
計	1,247,573	100.0	716,532	100.0	57.4